

季刊 地域と農政を結ぶ

VOL.
10
平成30年4月



アスパラガス（静岡市）

CONTENTS

- 巻頭言 - 新年度が始まりました -
- 平成30年度の地域担当をご紹介します
- **特集 「農」と福祉の連携 ～ 福祉分野に農作業を ～**
静岡の事例 「まるたか農園」（浜松市）
- トピックス 「静岡県わさび栽培地域」が世界農業遺産に認定されました
袋井市で「車座ふるさとトーク」が開催されました ほか
- 優良事例紹介 ユニバーサル農園「京丸園（株）」（浜松市）
- 統計の部屋 「平成28年市町村別農業産出額（推計）」を公表しました

関東農政局静岡県拠点地方参事官室
農林水産省

新年度が始まりました

静岡県の農林水産業に関わられる皆様、こんにちは。
皆様には、日頃から農林水産行政に御理解・御協力をいただきますとともに、御支援をいただき、誠にありがとうございます。

平成30年度が始まりました。農林水産業におきましては、国民の皆様への安全・安心な食料の安定的な供給という重要な役割の発揮とともに、新たな米政策や収入保険制度の開始等農政改革の着実な実施を始め、海外への農林水産物輸出の拡大、農泊やジビエの利活用の推進、平成32年に行われます東京オリンピック・パラリンピックの農林水産業の振興への活用と様々な取組が求められる状況となっております。

このような状況に対しまして、農林漁業者の皆様の所得向上、静岡県の農林水産業の益々の発展に向け、私どもとしましても新年度からの新しいメンバーとなりました地域担当を含め、全力で取組を進めてまいりますので、改めまして、皆様からの御指導・御鞭撻をいただきますよう、よろしくお願いいたします。



地方参事官（支局長）
緒方 弘志



総括農政推進官
（支局長代理）
長崎 直人



平成30年度の地域担当をご紹介します

〈企画・中部地域担当〉

みなさまのところへ
お伺いします。



農政に関する
意見・要望・質問を
お寄せください。

静岡市・富士宮市・島田市・富士市・
焼津市・藤枝市・御殿場市・牧之原
市・小山町・吉田町・川根本町

〈東部地域担当〉

〈西部地域担当〉

3名かわ
りました



浜松市・磐田市・掛川市・袋井市・
湖西市・御前崎市・菊川市・森町

沼津市・熱海市・三島市・伊東市・
下田市・裾野市・伊豆市・伊豆の国
市・東伊豆町・河津町・南伊豆町・
松崎町・西伊豆町・函南町・清水
町・長泉町



「農」と福祉の連携 ～ 福祉分野に農作業を ～



近年、人口減少や高齢化が進行する中で、福祉分野と農業分野が連携した「農福連携」の取組が各地で盛んになっています。

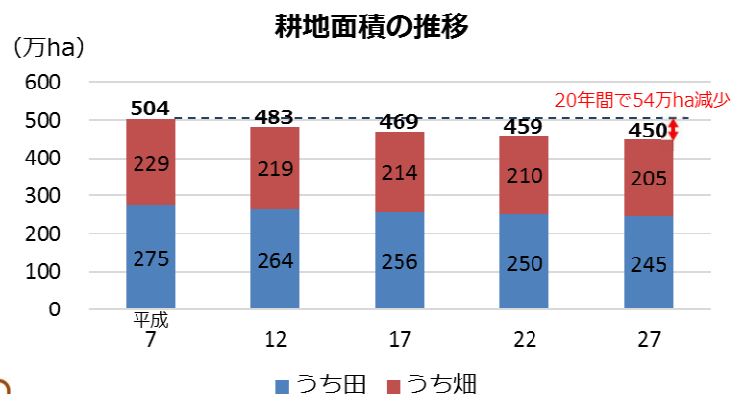
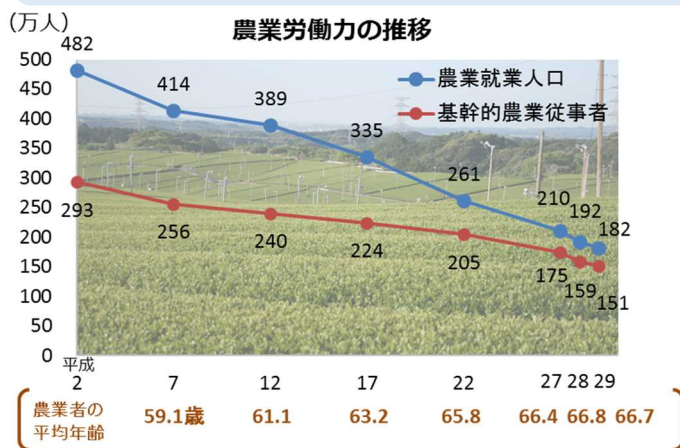
政府が定めた「『日本再興戦略』2016」及び「ニッポン一億総活躍プラン」においても「農福連携」の推進が盛り込まれるなど、障害者の就労訓練や雇用の場として、農業分野に注目が集まっています。

そこで、農業・農村における働き手の確保や地域農業の維持、さらに地域活性化も期待される「農福連携」について、情勢や支援策をご紹介します。

農福連携をめぐる情勢

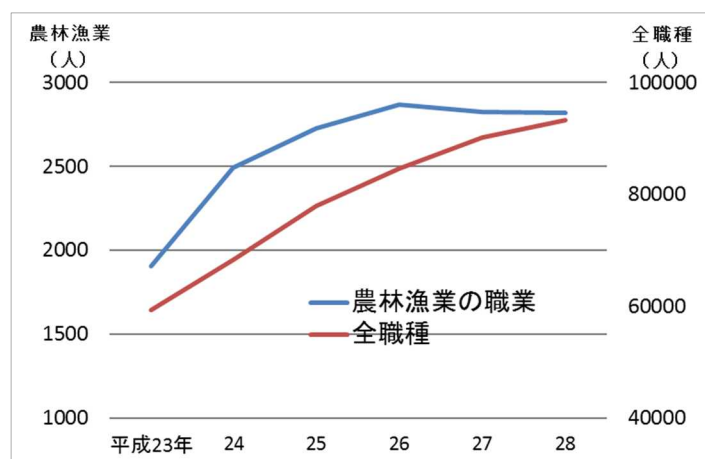
農業従事者の減少、高齢化、耕地面積の減少等が課題

- 農業者の平均年齢は、66.7歳。農業就業人口は、約20年で半数以下に減少
- 農地面積は年々減少し、20年前に比べ、約54万ヘクタール（約11%）減少



農林漁業への障害者の雇用は増加

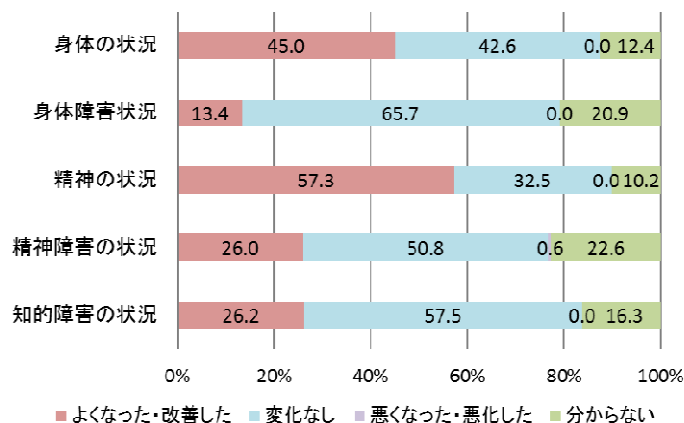
- ハローワークを通じた「農林漁業の職業」への障害者の就職件数は、2,821件（平成28年度）。この5年間で48%増と、増加傾向。



農作業により障害者の状況が改善

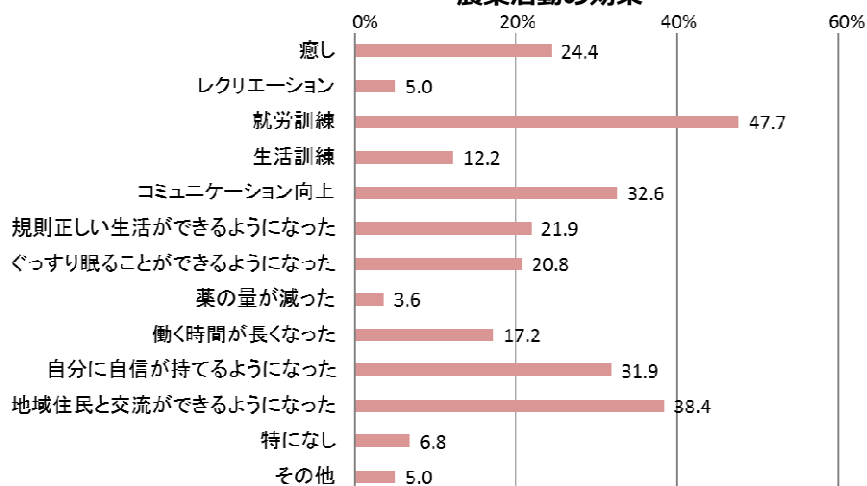
- 農業活動に取り組んだ結果、「身体が良くなった・改善した」と回答した施設は45.0%
「精神が良くなった・改善した」と回答した施設は57.3%
- 農業活動による障害者への効果として、就労訓練としての効果とそれによる自意識の向上、人や地域とのコミュニケーション能力の高まりがみられた。

農作業による身体・精神の変化



出典：「農と福祉の連携についての調査研究報告」（平成26年3月特定非営利活動法人日本セルフセンター）

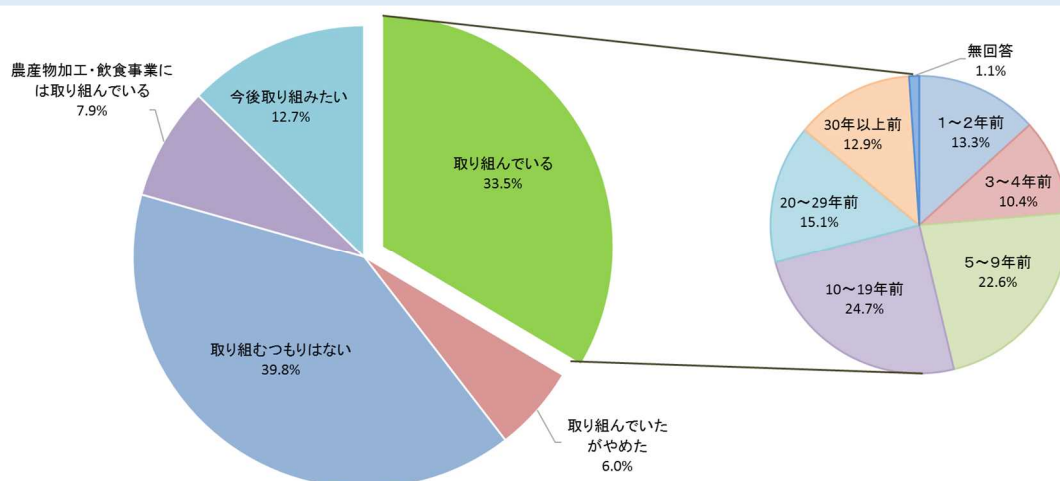
農業活動の効果



出典：「農と福祉の連携についての調査研究報告」（平成26年3月特定非営利活動法人日本セルフセンター）

近年、障害者は農業における貴重な担い手として期待

- 障害者就労支援事業所のうち、33.5%が農業活動に取り組み、そのうち23.7%が過去4年以内に農業活動への取組を開始



出典：「農と福祉の連携についての調査研究報告」（平成26年3月特定非営利活動法人日本セルフセンター）

農福連携関連予算のご紹介

支援は
コチラ

農山漁村振興交付金「農福連携対策」

～ 福祉農園等の整備、障害者の適性を踏まえた農業活動等を行う取組を支援します ～

農福連携整備事業

○福祉農園等整備事業

〈事業概要〉

福祉農園等の開設及び充実に必要となる施設等の新設、補修または改修を支援

〈事業実施主体〉

社会福祉法人、特定非営利活動法人等

〈事業期間〉 1年間

〈交付率〉 1/2 以内

○受入環境整備事業

〈事業概要〉

農業経営体が障害者を受け入れる際に必要となる施設の整備を支援

〈事業実施主体〉 地域協議会

〈事業期間〉 1年間

〈交付率〉 1/2 以内

普及啓発等推進対策事業

○福祉農園等整備事業

〈事業概要〉

農福連携の全国展開に向け、農福連携の普及啓発等の推進並びに農業と新たな福祉分野との連携及び農福連携の推進に係る調査、研究等を支援

〈事業実施主体〉

社会福祉法人、特定非営利活動法人等

〈事業期間〉 1年間

〈交付率〉 定額

農福連携支援事業

○福祉農園等支援事業

〈事業概要〉

福祉農園の管理者、当該農園に従事する障害者等が専門家の指導により農産物の生産技術、加工技術等の習得並びに分業体制の構築及び作業マニュアルの作成を支援

〈事業実施主体〉

社会福祉法人、特定非営利活動法人等

〈事業期間〉 2年間

〈交付率〉 定額

○農作業等支援サポーター育成・派遣事業

〈事業概要〉

農作業現場において農業経営体に代わり障害者に対する作業指示等を行うサポーターの育成及び派遣を支援

〈事業実施主体〉 地域協議会

〈事業期間〉 2年間

〈交付率〉 定額

○就農等支援研修事業

〈事業概要〉

就農等を希望する障害者を農業経営体が受け入れて行う研修並びに分業体制の構築及び作業マニュアルの作成を支援

〈事業実施主体〉 地域協議会

〈事業期間〉 2年間

〈交付率〉 定額



高齢者のいきがい農園の整備



障害者による玉ねぎの収穫

「特例子会社」

企業が障害者の雇用を促進する目的で作る「子会社」のことです。

事業主は、雇用する労働者の2.2%以上の障害者を雇用するよう義務付けられています。

事業主が障害者の雇用に特別の配慮をした子会社を設立し、一定の要件を満たす場合には、特例としてその子会社に雇用されている労働者を親会社に雇用されているものとみなして雇用率を算定できます。これを「特定子会社制度」といいます。

メリット

事業者にとってのメリット

- ・ 障害者の特性に配慮した仕事の確保・職場環境の整備が容易となり、障害者の能力を十分に引き出すことができる。
- ・ 職場定着率が高まり、生産性の向上が期待できる。

障害者にとってのメリット

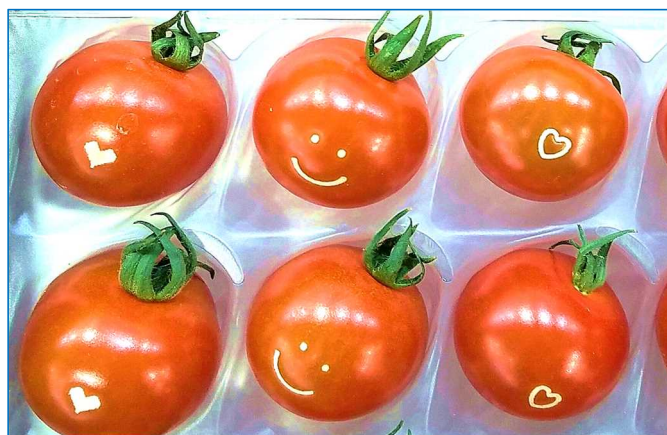
- ・ 雇用機会の拡大が図られる。
- ・ 障害者に配慮した職場環境で、個々人の能力を発揮する機会が確保される。



【農園の概要】

浜松市北区都田町でトマトや梨の栽培、加工品の販売を手がける**まるたか農園**は、「みんなの人生を豊かに！」をモットーにブランド化や農福連携の取組で存在感を高めています。

代表の鈴木崇司さんは、出荷先からの要望や、近隣の農地の斡旋を受けたことをきっかけに、栽培規模を拡大しようと考えていたところ、伊藤忠商事系の※特例子会社※(株)ひなりを紹介され、障がい者の受け入れを決意。平成23年よりミニトマトの栽培を開始しました。



笑顔やハートのマークを表面に描いたミニトマトの開発など、新しい取組みも積極的に行っている。

農福連携・ブランド化

農福連携から栽培規模の拡大へ まるたか農園（浜松市北区）



【農福連携の取組】

(株)ひなりから作業員の派遣を受け、労働力を確保することで、栽培規模の拡大、売上高向上を実現しました。また、出荷先の新規開拓、ブランド化を目指した商品開発など、新たなチャレンジに取り組む時間ができたことや、計画的な休暇の取得が可能になるなどのメリットも生まれました。

障がい者の受け入れに対する「どのように接したら良いのか」、「どこまで仕事を任せられるのか」といった不安には、(株)ひなりからサポートマネージャーが派遣されて、安心して仕事を任せることが出来ました。今では収穫・葉かき・定植など、ほとんどの作業を行えるようになりました。



住所：浜松市北区都田町1677-1

直売所：浜松市北区都田町7554-1（季節営業）

<http://www.marutakafarm.com/>

電話：053-428-2693

まるたか農園 浜松

検索

※ 特例子会社

企業が障がい者の雇用を促進する目的でつくる子会社のこと。

※ 株式会社ひなり
(株)伊藤忠ソリューションズの子会社。

浜松市事業所：
浜松市南区飯田町



トピックス

「静岡県わさび栽培地域」が世界農業遺産に認定されました



本年3月、「静岡県わさび栽培地域」の「静岡水わさびの伝統栽培」が国連食糧農業機関（FAO）によって世界農業遺産に認定されました。

認定された地域（3市4町：静岡市、伊豆市、下田市、東伊豆町、河津町、松崎町、西伊豆町）では、豊富な湧水を使った伝統的な栽培が行われています。認定されたことで、伝統農法の振興や農産物のブランド化が期待されます。



「静岡県わさび栽培地域」の概要

わさび栽培発祥の地であり、山間地の沢に階段状のわさび田を作って豊富な湧水を利用し、肥料を極力使わずに湧水に含まれる養分でわさびを栽培する伝統的な農業が継承されている。

また、わさび漬けなど、わさびを使った独特の食文化が地域に根付いている。

- 世界農業遺産 -

世界的に重要かつ伝統的な農林水産業を営む地域（農林水産業システム）をFAOが認定する制度。世界で19ヶ国49地域、日本では11地域が認定されています。（平成30年3月9日現在）



袋井市で「車座ふるさとトーク」が開催されました



3月17日、袋井市の笠原公民館において、内閣府主催の「車座ふるさとトーク」が開催されました。

「誰もが働きやすい農業環境づくり」をテーマに、上月良祐農林水産大臣政務官と参加された9名が意見交換を行い、以下のような意見が出されました。



上月農林水産大臣政務官と参加者の方々

- 農業側が働き手に合わせて作業を見直すことで、生産性の向上や経営改善につながる。
- 農業を女性があこがれる職業にするため、更衣室やトイレ等を農業現場に整備する必要がある。
- 中山間地にも雇用ニーズは存在している。保育園など環境整備を行って欲しい。
- 生産性を上げるためには、ロボットの最新技術等で作業の一部を効率化するだけでなく、生産から流通までの業務フローを改善する必要がある。
- メーカーの立場で、誰もが作業できる「農業の工業化」に向けて、作物の栽培設計から取り組んでみたい。

- 車座ふるさとトーク -

各府省庁等の大臣、副大臣、政務官が地域に赴き、現場の生の声をつぶさに聞き、政策に生かすとともに、政府が取り組んでいる重要政策について説明を行うものです。



「高収益な農業に取り組む現場から学ぶ － 土地改良事業の実施地区から－」（第3弾）を公表しました

農林水産省は、土地改良事業の実施を契機として、高収益作物への転換、大規模経営への発展や生産物を活かした6次産業化などを通じて、所得や販売額を向上させた取組を紹介する事例集の第3弾を作成しました。

ぜひご覧いただき、所得や販売額の向上にお役立てください。

<http://www.maff.go.jp/j/nousin/sekkei/attach/pdf/kousyueki-zirei-2.pdf>

第3弾では、静岡市清水区新丹谷地区の「樹園地の緩傾斜化と地域連携によるみかんのブランド化」の取組も紹介されています。

- 新丹谷地区の取組概要 -



〈整備前〉狭小かつ急傾斜

基盤整備



〈整備後〉樹園地の大区画化・平坦化

- 農作業の効率化、作物の品質向上、収益性の高い品種の導入実現
- 加工品の開発やオーナー制度による「清水のミカン」のブランド力向上
- 「儲かる農業」の実現により、息子世代の跡継ぎが相次いで就農を決心



【単位面積（10a）当たりの販売額】



「地理的表示（GI）産品情報発信サイト」を公開しました

農林水産省は、日本の地理的表示（GI）産品の魅力を国内外の実需者等に知っていただくため、「地理的表示産品情報発信サイト」を公開しました。

GI産品の認知度向上を図るとともに、外国とのGI相互保護の実現や海外での販売促進に向け、海外の政府関係者や国内外の流通関係者、消費者等にわかりやすく発信するためのサイトです。
<https://gi-act.maff.go.jp/>

海外の方にもご覧いただくため、
英語・中国語・タイ語でも掲載
しています！

GI産品の魅力が伝わりやすいよう
写真や動画も掲載しています！



名称や都道府県等のエリア、
産品の種類で検索できます！



誰もが参画できる「ユニバーサル農業」を実践 京丸園 株式会社（浜松市南区）

【取組の概要】

浜松市の京丸園株式会社（代表取締役 鈴木厚志さん）では、「障がい者の雇用を通じて、農業と福祉が融合して強い農業になる」をテーマに、様々な取組を実践しています。同社では、老若男女どんな人にもできる役割があるとして、「できることは伸ばし、難しいことは補い合う」雇用のあり方「農を通じた働き場の場づくり」を目指しています。こうした取組により、作業現場での課題を解決し、生産性の向上にもつなげています。

鈴木代表は、年齢や性別、障がいの有無などに関わらず取り組める「ユニバーサル農業」の実践によって、障がい者の多くが農業の現場で雇用できることを広く伝える活動を全国各地で精力的に行っています。



代表取締役 鈴木厚志さん

【農福連携への想い】

鈴木代表：障がいのある子を農業体験者として受け入れたことがきっかけで、自分の中で農業経営に対する考え方に大きな変化が生まれました。人手不足解消のために福祉の力を借りることも一つの有効な方法ではないかと思い、障がいのある人たちを受け入れられるように、誰もが作業できる環境づくりを考えるようになりました。

私は今、農作業の工程や経営方法を見直すことで農業が発展し、強くなるのではないかと考えています。人手不足など、農業の課題は、農業そのものが変わらなければ解決できません。一般的に農業は、経験や知識を必要とするため、新しい人を受け入れにくい傾向にありますが、

「新しい人を受け入れられる＝誰でも働ける」農業にならなくてはならないと思います。例えば「人手が足りない」とときには福祉の力を借りて、障がい者の農業への参画を進める。それが福祉の課題となっている「就労」に効果を生むかもしれません。



京丸園 株式会社

所在地：浜松市南区鶴見町

作物：芽ねぎ、ちんげんさい、みつば他

従業員数：89人 このうち障がいのある人は24人
(平成30年3月現在)

<http://www.kyomaru.net/index.htm>

京丸園

検索

統計の部屋

「平成28年市町村別農業産出額（推計）」を公表しました

農林水産省では、平成30年3月、「平成28年市町村別農業産出額」（農林業センサス結果等を活用した市町村別農業産出額）を公表しました。

この統計結果は、生産農業所得統計における都道府県別農業産出額を農林業センサス及び作物統計を用いて按分し、市町村別の農業産出額（推計）として毎年提供しています。

静岡県内市町別では、浜松市が533億円（県計に占める割合23.6%）で最も多く、全国7位となっています。

詳細なデータについては、下記URLをご参照ください。

 http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sityoson_sansyutu/index.html#y

平成28年市町村別農業産出額（推計）の上位部門 （農林業センサス結果等を活用した市町村別農業産出額の推計結果）

単位：1,000万円

市町村	農 業 産出額	第1位部門		第2位部門		市町村	農 業 産出額	第1位部門		第2位部門	
		部門	算出額	部門	算出額			部門	算出額	部門	算出額
静岡市	1,761	野菜	590	果実	567	伊豆市	216	野菜	107	米	48
浜松市	5,329	果実	1,772	野菜	1,467	御前崎市	702	野菜	366	肉用牛	76
沼津市	708	果実	292	野菜	121	菊川市	632	工芸農作物	213	野菜	158
熱海市	39	果実	31	野菜	7	伊豆の国市	433	野菜	264	米	48
三島市	514	野菜	305	豚	57	牧之原市	1,034	工芸農作物	338	野菜	311
富士宮市	2,247	鶏	1,059	乳用牛	487	東伊豆町	102	果実	48	野菜	38
伊東市	123	野菜	58	果実	43	河津町	70	野菜	30	果実	21
島田市	792	工芸農作物	312	加工農産物	164	南伊豆町	62	野菜	30	花き	17
富士市	721	野菜、花き	153	工芸農作物	118	松崎町	23	野菜	9	米	7
磐田市	1,320	野菜	656	米	217	西伊豆町	13	花き	7	野菜	3
焼津市	528	野菜	217	鶏	143	函南町	274	野菜	109	乳用牛	98
掛川市	1,480	野菜	463	工芸農作物	235	清水町	15	野菜	8	米	6
藤枝市	542	野菜	176	果実	106	長泉町	164	野菜	63	肉用牛	41
御殿場市	239	米	99	野菜	49	小山町	77	米	44	野菜	25
袋井市	851	野菜	372	米	165	吉田町	115	野菜	63	米	32
下田市	28	野菜	14	米、果実	6	川根本町	88	工芸農作物	50	加工農産物	26
裾野市	80	野菜	34	米	19	森町	378	野菜	217	米	46
湖西市	855	豚	196	野菜	180						

※ 富士市の第1位部門の野菜と花きは同額、工芸農作物は第3位部門。
下田市の第2位部門の果実と米は同額。

また、関東農政局管内の分析結果を関東農政局のWebサイトに掲載していますので、下記URLをご参照ください。

 統計をみよう「関東農政局管内の農業産出額」
http://www.maff.go.jp/kanto/to_jyo/toukeimiyou/attach/pdf/index-22.pdf

春の一枚



「田んぼをつかった花畑」(松崎町)
色とりどりの花が次々に開花します。

関東農政局 静岡県拠点

〒420-8618 静岡市葵区東草深町7番18号
TEL 054-246-6121 FAX 054-246-6226

【地方参事官室】		054-246-6121
	(経営所得安定対策担当)	054-200-5500
【食料産業チーム】		054-246-6121
【統計チーム】	(経営・構造)	054-246-0612
	(生産流通)	054-246-6123
【消費・安全チーム】	(食品表示)	054-246-6959
	(米穀流通)	054-246-6125
	(農畜産安全)	054-246-6125

